

尾鷲総合病院運営懇話会開催

2月9日に市民の代表の方と議会を含めた病院関係者及びオブザーバーの紀北町も参加して開催されました。委員からは「医師不足の解消」などの意見が出され、市長・議会及び病院長が三重大学医学部並びに三重県に要望活動を行ったことにより、現状よりは医師不足の改善は図れると思っていると回答しました。



小児科診療の現状について

現在、小児科は三重大学からの応援医師によって月・水・木曜日の週3回の診療を行っており、火・金曜日は休診となっています。また、夜間・休日の救急については、症状により受診できる場合もありますのでご連絡をお願いします。なお、入院患者の受け入れは行っておりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

病院の理念

- 高度医療に対応できる東紀州地域の中核病院
- 地域の保健・医療・福祉との連携を促進し、地域の人々と共に創る病院
- 患者様に信頼され、いつでも安心して受診していただける患者様主体の総合病院
- 教育、研修機能を持つ病院
- 質の高い医療技術とサービスを提供する病院
- 職員一人ひとりが、病院の将来ビジョン・経営について考える病院

みなさまの声を聞かせください

本誌へのご感想やご意見、ご要望などございましたら、院内に設置されている患者さんの声に投稿いただくか、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：
尾鷲総合病院 病院総務課 総務係
owase-hp@city.owase.lg.jp
TEL 0597-22-3111



発行/尾鷲総合病院
編集/尾鷲総合病院
編集協力/TCK Nagoya
所在地/三重県尾鷲市上野町5番25号
TEL/0597-22-3111
FAX/0597-23-3285
ホームページ/http://owasehp.jp

おせ プラス

第31号

2023.3月発行
寒緋桜 (かんひざくら)

ホット
プラス

最新情報

新任医師紹介

内科医師

コメント

三重大学循環器、腎臓内科講座より赴任させていただきました。内科及び心不全を中心とした診療でお役に立てるよう努力させていただきます。よろしくお祈りいたします。



森 洋樹
(もり ひろき)

研修医

コメント

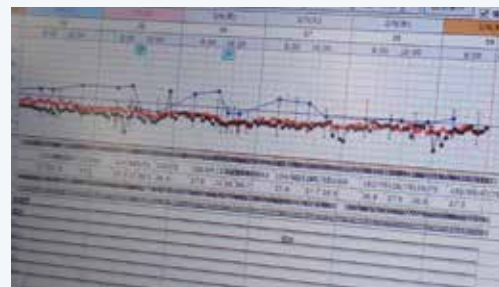
1月から研修させていただいております。尾鷲総合病院に来てから期間は短いですが、職員の皆さんが温かい素敵な病院だなと感じました。病院で少しでもお役に立てるよう頑張りますので、ご指導の程よろしくお祈りいたします。



岡田 みいな
(おかだ みいな)

1 生体情報モニタシステム

生体情報モニタシステムは、セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ及び送信機等によって構成され、病棟部門、手術室、救急、透析、放射線等の各部門に対応したシステムとなっています。以前のモニターと比べコンパクトで防水機能があることとサーチレーション（酸素量）も耳で測れることにより、その場で計測できるようになりました。更に、電子カルテとの連動により入力作業がなくなり患者さんのベットサイドでも確認ができるようになったことから、患者さんの状態の把握がすぐ出来るようになりました。



2 尿検査総合搬送システム

尿検査総合搬送システムは、尿の検査によりタンパクや糖など、また沈査により異常な細胞が分かり、その数値を医師が確認することにより様々な処置を可能にする機器です。導入により、以前よりも検査結果の出る時間が短縮され、尿の量も少なくて済むことから患者さんに再度取り直してもらおうということがなくなりました。



3 眼科レーザー光凝固装置

眼科レーザー光凝固装置とは、眼底疾患を熱凝固作用を利用して治療する際に、網膜にレーザーを照射する機器です。以前の機器に比べると、疼痛が少なく、一度に多くの照射を行うことが可能なため、治療時間・期間が短いため患者さんの負担が減ります。



4 分娩台

新しい分娩台は、これまでの分娩台と違い陣痛室から歩いて移動する必要がなく、分娩台に乗ったまま移動でき、緊急時においてもストレッチャー等へ乗り換えることなく、そのまま手術室に移動することができます。また、以前のものよりマットレス部分が広く、クッション性も優れており、陣痛時や産後も安全で自由に体位を変更できることから、より快適なお産が行えます。



5 電動式手術台

新しい手術台は、様々な診療科の手術に対応できる手術台で、角度調整やスライド幅を大きくとることができ、また低反発マットレスになったことから術中から術後の患者さんの負担を軽減することができます。更にマットレスまでが約60 cmの高さに下降が可能となり、ベッドや車椅子などからの乗り降りがスムーズにできるようになりました。

